

2018年度 第1回 東京・神奈川地区5国立大学法人
公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	2018年12月3日(月) 15:00~16:50 東京医科歯科大学 3号館20階大会議室	
委員	委員長 林 静雄 (大学名誉教授) 委員 清水 幹裕 (弁護士) 委員 竹内 啓博 (公認会計士)	
審議対象期間	2017年7月1日~2018年6月30日	
抽出案件(合計)	6件	(備考) 資料7 審議案件一覧表に基づき、各大学の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
工事(小計)	5件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
簡易公募型プロポーザル(拡大)	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	低入札価格調査の経営状況・信用状況の判断基準について、再度検討願いたい。	

質 問	回 答
<p>議事1. 東京・神奈川地区5国立大学法人における発注状況等 (2017.7.1~2018.6.30)</p> <p>①東京・神奈川地区5国立大学法人において発注した建設工事について</p> <p>(事務担当より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>②東京・神奈川地区5国立大学法人において発注した設計・コンサルティング業務について</p> <p>(事務担当より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>③報告遅延について</p> <p>(事務担当より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>④指名停止等の措置状況について</p> <p>(事務担当より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・特になし ・特になし ・特になし
<p>議事2. 個別審査</p> <p>①審議対象工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について</p> <p>(事務担当より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし

質 問	回 答
<p>②建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について</p> <p>1) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【東京医科歯科大学 国府台団地国際交流会館受水槽改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札を辞退している理由は何か。 ・低入札価格調査となった原因は何か。 ・何社程度の応札を見込んでいたか。 <p>2) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【東京海洋大学（品川）講義棟空調用電源工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8者中7者が最低基準価格以下で応札していることについて、どのようにお考えか。 ・低入札価格調査で経営状況と信用状態を特に問題なしとした理由は何か。 ・低入札価格調査が形式的なものにならないよう、対応策を検討すべき。 ・地域要件に茨城県は含めないのか。 <p>3) 一般競争入札（政府調達対象）（総合評価落札方式（標準型＋施工体制確認型）） 【お茶の水女子大学 国際交流留学生プラザ新営工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札を辞退している理由は何か。 ・発注時期をもう少し早めることは出来なかったのか。 ・不落随契協議でどのような対応を取ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の工事を受注することが決まり、技術者を配置することができなくなったためである。 ・直近に同種工事がなく、査定率を以前と同等に設定していたことによるものである。 ・3者程度を見込んでいた。 ・8者が応札してきたことについて、競争が働いていると考えている。また発注時期が閑散期である年度当初だったため、企業の受注意欲も間接的な要因であると考える。 ・提出された書類は経理担当が審査を行い、問題ないものと判断されれば、契約手続きを進めている。 ・今後対応を検討していく。 ・施工場所の近接4県に設定している。千葉県内での工事の場合は、茨城県も含めている。 ・オリンピック関連工事の影響で鉄骨業者を確保することができなかったこともあり、工期を守れないことが判明したためである。 ・寄附工事のため、寄附金を受入後急いで手続きを進めた結果、この時期になった。 ・外装装飾パネルの金額が、本学の見積金額とかなり開きがあったため、本学の見積徴取先を紹介した。また機械設備工事に範囲外の工事が含まれていたため、その範囲を除いた。

質 問	回 答
<p>4) 一般競争入札方式（最低価格落札方式） 【横浜国立大学（常盤台）経済学部1号館自動火災報知設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後自動火災報知設備に関する工事は、今回のような予定価格になっていくのか。 ・「経年劣化に伴い故障した」「補修部品の保有期間を経過した」とあるが、火災報知器は通常何年ごとに更新しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の受注業者は消防専門業者であり、メーカーとの取引が多く、安価な金額での受注が可能であることが判明した。そのため今後は、それを考慮して予定価格を作成していく。 ・メーカーでは15年を基準とし、生産終了後5年は補修部品を持っているとしている。予算上、26年以上で更新を検討している。今回の更新箇所は前回の更新から24年が経ち、補修部品もない状況だった。
<p>5) 一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型）） 【総合研究大学院大学 先導研空調用電源他電気設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜこの時期の発注になったか。 ・公告が大学の掲示板への掲示のみである。少なくとも文部科学省のHPにはあげたらどうか。 ・再公告において資格要件はどのように設定したか。 ・地域要件を東京都と神奈川県に設定している理由は何か。競争の活性化のためにも拡大してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機更新に併せた本工事を同時に発注する必要があり、担当が1人しかいないため、この時期になってしまった。 ・本件は初めの公告で書類提出業者がなく、工期の関係もあり締切後即日再公告を行ったため、文部科学省のHPの掲載に間に合わなかった。 ・資格要件を緩和した。 ・特に理由はない。年に入札案件は1-2件程度だが、今後要件の拡大を検討する。
<p>6) 簡易公募型プロポーザル方式（拡大） 【東京海洋大学（品川）建築基準法適合状況調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国で指定確認検査機関が34者あるとのことだが、この地域要件では何者が該当するのか。 ・平成26年に国土交通省のガイドラインが出ているが、このタイミングで調査を行った理由は何か。 ・随意契約ではなく競争入札にした理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8者である。入札前にこの8者に確認したところ、実際に本業務を2ヶ月で実施できる能力があると回答したのは2者であった。 ・国土交通省のガイドラインに関係なく、以前より適合状況調査を行う予定であったが、手続きの都合上この時期になった。 ・学内基準に照らし合わせ、また業務内容を鑑みて、競争性があるものと判断したからである。

質 問	回 答
<p>議事3. その他</p> <p>①再苦情処理会議への申立て状況</p> <p>(事務担当より説明)</p> <p>・特になし</p> <p>②重要な調達の事前審査状況</p> <p>(事務担当より説明)</p> <p>・特になし</p>	<p>・特になし</p> <p>・特になし</p>